

目地を護る MM-80

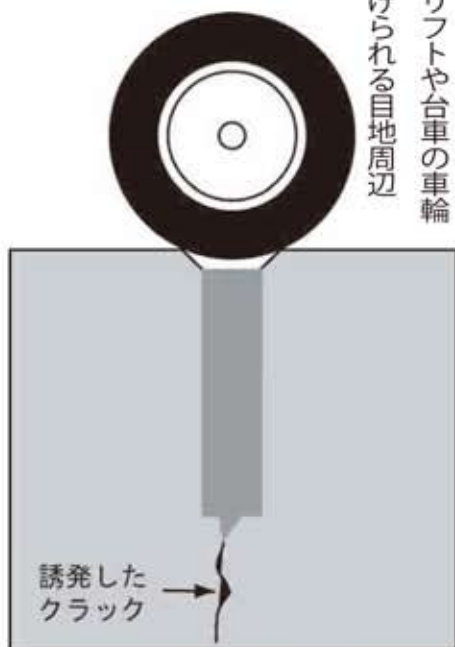


休みなく稼働する物流施設。眠ることが許されない生産拠点。24時酷使される産業用施設の床面目地を護るためだけに開発されたジョイントフィラー MM-80。専門メーカーのメッツガー・マクガイアー社(米国ニューハンプシャー州)のベストセラー商品です。フォークリフトや台車の通行で酷使されるコンクリートスラブですが、特に激しい損傷を受けるのが目地部周辺。目地に MM-80 を充填することで、理想的な強度となり、長期に渡って床面を護ります。ロジスティックスの先進国アメリカで、業界標準と呼ばれる理由があります。動き出したら止められない物流施設こそ、新設時に MM-80 で目地を護ることをお奨めします。

目地を護る

MM-80

フォークリフトや台車の車輪
で痛めつけられる目地周辺



度重なる衝撃で破壊された目地角部

MM-80は、世界で初めての「コンクリート床の目地専用シーリング材」です。その画期的な性能は、世界各地の物流施設や商業施設で愛用されています。

【最大の特長】

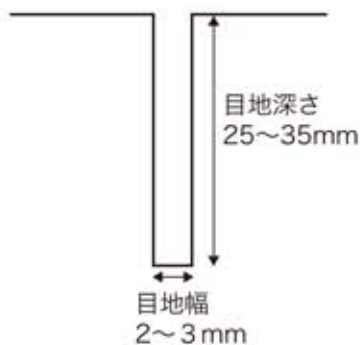
MM-80の最大の特長は「目地を保護するシーリング材」であるということです。クラック（ひび割れ）防止のために設けられたカッター目地は、台車やフォークリフトの通行により連日痛めつけられ、やがて破壊されてしまいます。一般的なシーリング材は、“動き”が大きい目地（ムービングジョイント）のために作られているために弾性を持ちます。ところが、弾性を持つシーリング材ではカッター目地の角部が衝撃ポイントになるために、破壊されてしまうのです。かといって弾性を持たない材料を使用すると目地の動きを固めてしまうことから、目地自体を殺してしまうことになります。

そこで、目地の動きは活かしながら目地の角部へのタイヤの衝撃を分散させるMM-80が開発されたのです。開発元のメッツガーマクガイアー社が出した答えは“微弾性”というキーワードでした。コンクリートの収縮運動を妨げることなく、目地を保護する抜群の性能は、世界各国の物流施設で証明済みです。

【推奨サイズ】

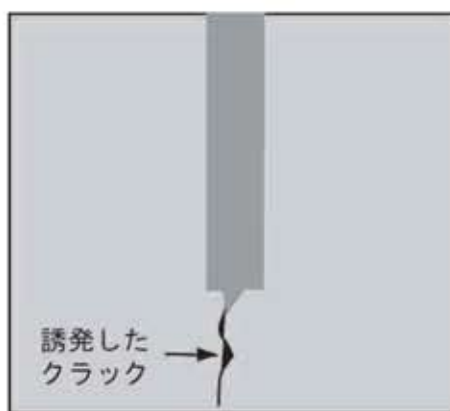
スラブ厚み150mm程度の一般的なサイズの場合は、経済性も考慮して目地幅2~3mm・目地深さ25~35mmがお奨めです。

詳細は「ソフカットに関する資料」（セメントワークス）をご確認ください。



【そもそも目地とは何でしょうか】

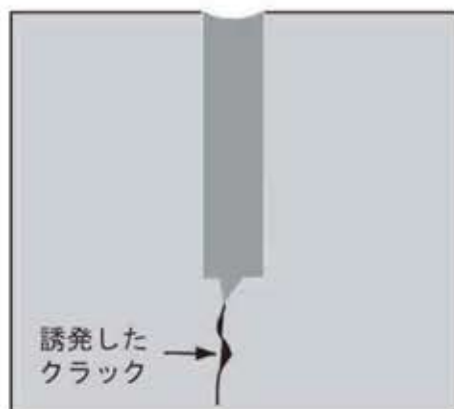
コンクリート床を、広い面積を継ぎ目なく施工すると“ひび割れ”が発生し、その“ひび割れ”から床面が破損してしまうことがあります。そこで、事前に目地材と呼ばれる板状のもので数十㎡ごとに区切っておいてから生コンを流しいれる「伸縮目地」と呼ばれる工法や、生コンを一気に継ぎ目無く打設してしまい、生コン硬化後にコンクリートカッターで切れ目を設ける「カッター目地」と呼ばれる工法が存在します。最近では効果的なひび割れ防止カッター（ソフカット）の普及もあり、伸縮目地を使用する工法は使用されなくなりました。



理想的な仕上がり断面

【理想的な MM-80 仕上げ】

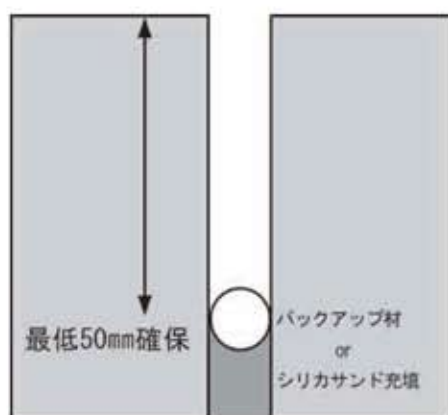
左の図は、MM-80 を施工した理想的カッター目地の断面図です。「フルフラット仕上げ+微弾性」の MM-80 ならば、硬い小径タイヤの通行もストレスなく可能。長期に渡る酷使にも抜群の威力を発揮します。



新設時から衝撃ポイントが発生している通常のシーリング材

【バックアップ材が起こすトラブル】

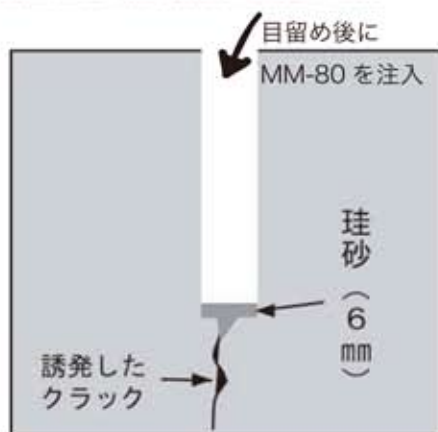
動きがある目地（ムービングジョイント）は二面接着とするためにバックアップ材を使用します。しかしコンクリート土間のカッター目地は動きがごく僅かなノンムービングジョイント。二面接着で得られるメリットはありません。また、バックアップ材と共にシーリング材が陥没することで大きな衝撃ポイントが発生することがございます。



打ち継ぎ目地のバックアップ例

【打ち継ぎ目地の場合】

コンクリートの打設日が異なる打ち継ぎ目地の場合、カッター目地と異なりスラブの底までが完全に分断されています。何も処理をしないままに MM-80 を注入しても転圧下地等に漏れてしまい充填できません。そこで、MM-80 の付け代を 50mm 以上確保してバックアップ材を設けるか、目地の底部にシリカサンドを詰めることで漏出を防ぎます。



誘発目地のバックアップ例

【カッター目地の場合】

カッター目地を設ける主な目的は“ひび割れの誘発”です。ひび割れの誘発が起こったカッター目地は、図のように底部からクラックが発生して、目地幅が僅かに広がっています。そのまま MM-80 を注入してもクラックを伝って大量の MM-80 が漏出してしまいます。

事前に珪砂（シリカサンド）を目地底部に敷き均すことで“目留め”となり、余分な漏出を防ぐことができます。

【構成】

MM-80 は、主剤と硬化剤の二種類を混合して硬化させる微弾性エポキシ樹脂です。硬化すると、強硬度を維持しつつ弾性を保つ画期的な特性を有しています。

主剤（A剤）+硬化剤（B剤）= 1 ガロン（約 3.8L）

【主な用途】

主に、フォークリフトや台車が頻繁に走行するような酷使される産業用コンクリート床の目地材です。その他の用途として、ひび割れに充填して補修を行うことも可能です。

ASTM-D 3912, (25°C) による耐薬品性能

薬品名	試験結果	備考	薬品名	試験結果	備考
酢酸 0~20%	問題なし		ジェット燃料	問題なし	
酢酸 20~30%	条件付き	30分以内で除去	乳酸	問題なし	
アルカリ性洗剤	問題なし		メチルエチルケトン	問題なし	
バッテリー液	条件付き	30分以内で除去	塩酸 5%	問題なし	
ブドウ糖	問題なし		サリチル酸	問題なし	
エチルアルコール	条件付き	一時的に軟化します	砂糖	問題なし	
ガソリン	問題なし		ブドウジュース	問題なし	
塩酸	お奨めしません		トルエン	条件付き	一時的に軟化します
イソプロピル・アルコール	問題なし		ワイン	問題なし	
牛乳	問題なし		塩水	問題なし	

施工方法・技術資料等が必要な方は、代理店または弊社までお問い合わせ下さい。

輸入販売元


セメントワークス株式会社

■本社：〒154-0016
世田谷区旗巻3-21-12

■北東京センター：
〒121-0061
東京都足立区花畑3-24-12
t: 03-5242-6586 f: 03-5242-6587

コスモ石油グループ



コスモリフォーム株式会社

本社 / 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-1-9 京橋北見ビル西館
TEL.03-3523-1081 FAX.03-3552-1048

<http://www.cosmo-rf.co.jp>